

知財ist研修2019シラバス

【知財ist研修2019】	
課程	実務課程
科目	契約書作成の実務 2日間
副題	～グループ演習を重視した戦略的知財契約の実際～
日程	2019年9月11日（水）・9月18日（水）いずれも10:00～17:00
講師	青山学院大学法学部特別招聘教授 石田 正泰 氏
科目別受講料	会員34,000円、一般42,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（47日間）会員500,000円、一般600,000円 実務・訴訟・海外おまとめ受講料（19日間）会員280,000円、一般350,000円 実務課程おまとめ受講料（8日間）会員130,000円、一般162,000円
説明	本科目では、知的財産契約書を作成するにあたり、重要なポイント、および『知財を使う』という考え方について2日間をかけてライセンス契約、共同研究開発契約を中心に解説し、また、グループ演習を通じて戦略的知的財産契約を実践し、経営に資する知的財産業務を考慮します。
レポート、演習の有無等	2日目の講義後半の時間にグループ演習を行います。 講義中にレポート課題を提示します。希望者は講師による採点を受けることができます。（おまとめ受講者で、知財ist研修の修了証書が必要な方はご提出が必須です。） レポートの返却は、ご提出期限より2、3カ月後となります。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、9/4までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。 （ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）

知財ist研修2019シラバス

<p>研修項目予定 (昨年度目次例等)</p>	<p>I 知的財産契約総論 1. 企業経営における知的財産、知的財産契約 2. 知的財産契約の考え方 3. 知的財産契約の意義、契機、目的 4. 知的財産契約の対象 5. 知的財産契約の種類 6. 知的財産契約の戦略、事前調査、交渉 7. 基礎、応用、戦略 8. 知的財産契約の管理 9. 知的財産契約と独占禁止法 10. 知的財産契約ドラフティングの基礎的事項</p> <p>II 実施（ライセンス）契約書 1. 知的財産契約実務キーワード 2. 特許・ノウハウライセンス契約の意義・目的・対象 3. ライセンシングポリシー 4. ライセンス契約の種類 5. ロイヤルティの考え方 6. ライセンス契約の交渉 7. 創り込み、表現、評価 8. ライセンス契約の作成手順 9. 重要なライセンス契約書の構成と主要条項</p>	<p>10. 特許・ノウハウライセンス契約の起案、交渉、調印 11. ライセンサー、ライセンシーのドラフティングの考え方 12. チェックリストの利用 13. ライセンス契約書文例 14. オープンイノベーションと知的財産契約 15. 知的財産の利用に関する独占禁止法上の指針</p> <p>III 共同研究開発契約書 1. 共同研究開発契約上の法務問題と実務的対応策 2. 共同研究開発と知的財産に関する諸問題 3. 共同研究開発と営業秘密 4. 共同研究開発契約の起案、交渉、調印 5. 共同研究開発契約のチェックリスト 6. 共同研究開発契約書の文例 7. 産学間の共同研究開発契約の課題 8. 共有特許権に関する特許法第73条</p> <p>補足：国際ライセンス契約</p>
<p>参考書籍等</p>	<p>「知的財産契約実務ガイドブック（第3版）」石田正泰著 発明推進協会発行をテキストとして使用します。（受講者には配布します。）</p>	
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約に関する業務は今まで行ったことがなく、手探りの状態で、実務（演習）を行ったが、その中で貴重な経験を得られたと思う。</li> <li>・独禁法の知識が浅かったので、私にとっては難しかったです。</li> <li>先生は丁寧に説明していただいたので、理解にとっても助かりました。</li> <li>・実践的な経験ができ、大変勉強になりました。</li> <li>・演習は、立場の違いを越え、交渉を収束させて行く過程が、勉強になりました。</li> <li>・参考資料にチェックすべき点や現在の契約についての課題等も記載されており、実務の時にも有効活用できそうだと感じました。</li> </ul>	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。</li> <li>・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。</li> <li>・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。但し本研修は、演習も行いますので、音声のみを聴講されても分かりにくいこともあるかと思えます。実際にご出席いただくことをお勧めしております。CDについては、事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。）</li> </ul>	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、2日間で11単位が認められる予定です。</p>	

2019.6.17